



海事産業における 女性活躍推進 の 取組事例集



輝け！フネージョ★



はじめに

海洋立国日本において、海運業、造船業、船用工業といった海事産業は、我が国経済及び国民生活に大きな役割を果たしており、その持続的な発展には、数多くの優秀な海事人材の活躍が必要不可欠であり、女性が活躍できる仕事も多くあります。

しかしながら、船の運航や造船、舶用品製造は、男性中心の仕事で、ロープの固縛やホース荷役、重い資材・機器の使用など身体的負担の大きい作業が多いとのイメージが定着していることもあり、業界の女性人口は、まだまだ他の製造業や建設業に比べて低い状況にあります。

この事例集は、女性が、船員として、又、造船所、船用メーカーにおいて働きやすい職場環境を実現している取組事例を広く紹介し、情報発信を行うものです。

海事産業における女性活躍を応援する取組のヒントとしていただくとともに、女性のみなさんが海事産業に携わるきっかけになれば幸いです。

なお、本事例集は定期的に更新し、新たな取組みを随時ご紹介いたします。ご興味のある事業者は、最寄りの地方運輸局又は所属団体等を通じて、お申し込みください。

目次

【造船業・船用工業】

- P.3 浅川造船株式会社（愛媛県今治市）
- P.4 渦潮電機株式会社（愛媛県今治市）
- P.5 株式会社大島造船所（長崎県西海市）
- P.6 旭洋造船株式会社（山口県下関市）
- P.7 佐伯重工業株式会社（大分県佐伯市）
- P.8 株式会社ササクラ（大阪府大阪市）
- P.9 株式会社三和ドック（広島県尾道市）
- P.10 JRCS 株式会社（山口県下関市）
- P.11 新潟原動機株式会社（東京都千代田区）
- P.12 檜垣造船株式会社（愛媛県今治市）
- P.13 三浦工業株式会社（愛媛県松山市）

P.14 三井 E&S 造船株式会社（東京都中央区、岡山県玉野市、千葉県市原市）

P.15 三菱重工業株式会社（東京都港区）

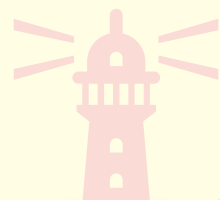
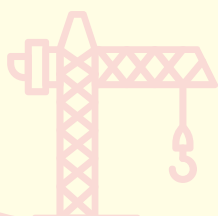
P.16 株式会社横浜工作所（神奈川県横浜市）

【船員】

P.17 アジアパシフィックマリン株式会社
（北九州市小倉区）

P.18 協同商船株式会社（東京都杉並区）

P.19・・・お問い合わせ



浅川造船株式会社（愛媛県今治市）

仕事に必要なのは「ヤル気」だけ

先入観のない 人材雇用で女性も 活躍できる会社へ

会社の姿勢

仕事に性別も国籍も関係ない

その昔、クレーンやNC切断機などがなかった時代は確かに男性中心の職場だったかもしれない。しかし、今ではあらゆる装置が機械化され、その操作に男女差は生まれない。少子高齢化、都会への若者の人材流出が叫ばれる中、性別や国籍、年齢といった先入観を排除した雇用を心がけている。

現在、製造部には全部で7名の女性がいて、そのうち5名がヘルメットを被って現場に出ることもある。設計部はCADやGRADE/HULLの導入によって、3名の女性がネ스팅担当として働いている。昨年からは地元・愛媛大学の女性未来育成センターが主導する『リケジョ応援企業』にも参画しており、今後も積極的に女性の雇用を行っていく方針である。

社内環境

キャリアアップのための部署異動も

女性専用の更衣室や休憩室を設け、昼食をとる休憩室にはテレビを設置するなど働きやすい環境整備を行っている。内勤の女性には制服を支給し、現場作業を行う女性には男性とは異なるデザインの作業服を用意するなどソフトとハード両方の改善を随時行っている。

また、浅川造船で働く女性の中には、一度出産、育休を経てパートタイムでの勤務を希望して職場に復帰した女性もいる。会社は多種多様な働き方を提案し、社員やその家族が納得のいく働き方を選択して長期間働いてもらうことを第一に考えている。意欲の高い女性が多いので、自身のキャリアアップのための部署異動の希望は積極的に受け入れている。



2台あるNC鋼板切断機のオペレーターを務める大本千里さん（右）と大本菜里さん（左）は本当の姉妹。実は父親も同じ会社で働く「造船一家」。父親の紹介で千里さんが入社すると、会社の雰囲気や仕事内容を聞いて興味を持った菜里さんも後を追うように5か月後に入社。毎日、同じ自宅から出勤している。同じ機械のオペレーターだけに仕事の悩みも2人でよく相談している。



3年前からNC印字マーキング装置のオペレーターを務める越智美奈子さん。もともと安全課で事務を担当していたが、本人の希望で現場担当に。今ではその表情は職人の顔つきに。



VOICE

本田圭乃さん
GRADE/HULL という、機能設計から生産設計までをカバーする3次元造船用CAD/CAMシステムを使って鋼板のネ스팅を行っている。
「大学時代はワードやエクセルしか使ったことがなかったのですが、先輩方が丁寧に教えてくれたので2か月である程度の作業を覚えることができました。設計部からは船台が見えるので、実際にネ스팅した鋼板が大きな船になっていくのを見るのは楽しいです」

取り組んでいる会社の概要

浅川造船株式会社

代表者：浅野 富士人（代表取締役）
所在地：愛媛県今治市小浦町2丁目4番39号
資本金：5,000万円
事業内容：各種鋼船の建造及び修理
従業員数：140名

（平成29年8月時点）

渦潮電機株式会社（愛媛県今治市）

女性の能力を最大限引き出す

女性もプライドを持てる職場環境づくり



総合職として営業・設計で活躍している女性社員が増加しています。育休取得率もアップし、働きやすい職場環境がBEMACの社風です。

会社の姿勢

女性が活躍する地域風土

愛媛県今治市は、古くから海事産業と並び繊維産業（タオル等）が盛んで、多くの女性が就業しています。こうした地域風土から当社では、働く女性がプライドをもって職場で活躍できるよう取り組んでいます。特に製造部門の男女比では、女性が40%を占めており、きめ細やかで丁寧な製品づくりに女性の能力が十分に発揮されています。またパート女性であっても65歳まで就業でき、勤続30年を超える女性社員も多数在職しています。工場見学に訪問されたお客様の多くが、女性社員の人数と仕事ぶりに驚かれています。

社内レクリエーションでも、女性が中心のソフトバレーボール大会など、参加しやすい行事を企画しています。年始には会社から社員全ての子供さんにお年玉を配り、会社と家庭の繋がりを大切にすることを長年継続しています。



工場見学に来社されたお客様に対して、最高の「おもてなし」の姿勢を心掛けて日々業務に取り組んでいます。

社内環境

女性設計チームを結成

ともすれば男性の多い設計部門では、能力ある女性社員であっても自ら提案することや新しい挑戦に躊躇しがちになってしまいます。そこで当社では、女性だけの設計チームを結成しています。女性同士で意見を出し合い、協力しながら業務を着実に遂行しています。もちろん確かな製品づくりに妥協は許されませんが、コミュニケーションを図り家庭の都合など考慮し、お互いに助け合いながら業務を行っています。

また美しい女性らしさも大切な社員教育として捉え、礼儀・応接のマナー教育にも注力しています。特に電話対応コンクールでは、コールセンターやホテルの受付といったライバルに負けず、県代表として全国大会にも度々出場し、優秀な実績を残しています。

これからも会社発展の重要なファクターとして、女性がいきいきと活躍する職場環境を目指します。



私たちのチームでは、船舶の監視盤設計に挑んでいます。無事に製品を出荷し、船舶に搭載された時の達成感は、とてもやりがいを感じられる瞬間です。

取り組んでいる会社の概要

渦潮電機株式会社

代表者：小田 雅人(代表取締役社長)
所在地：愛媛県今治市野間甲105番地
資本金：6,000万円
事業内容：電気機械器具製造業
従業員数：975名

(平成29年12月時点)

株式会社大島造船所（長崎県西海市）

積極的な採用と職場環境・生活環境を整備

船づくり大好き！ 「造船女子」の 活躍を推進



大島造船所及び関係会社・協力会社で働く女性社員の集合写真。「明るく、強く、面白く」をモットーにそれぞれの職場で活躍中

会社の姿勢

女性技術職・技能職を積極的採用

大島造船所は1999年から毎年5名程度の女性技能職入社を目標に採用活動をしてきた。当初は3K（きつい・汚い・危険）のイメージが強く目標達成できなかったが、女性社員が働きやすい職場環境づくりや本人の希望を踏まえた配属等現場の努力、及びトイレ、休憩所、シャワー室の設置や女性専用社宅建設等福利厚生施設を充実させたことにより、2015年以降は女性技能職5名入社という目標を達成しており、現在35名以上の女性社員が現場で活躍している。女性技術職も2008年より毎年1名を目標に採用活動をしており、現在は5名が設計部や工作部のスタッフとして活躍している。これからも女性の活躍推進のため職場環境の改善と生活環境の整備に努め、積極的な採用活動を継続する。



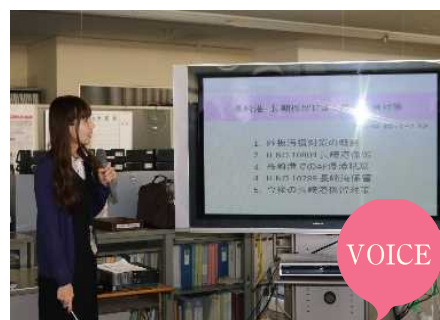
2007年に竣工した女性専用社宅。大島の高台にあり、バルコニーからは大島の街並みが一望できる。部屋はユニットバス+キッチン付の1ルームタイプ

社内環境

女性社員の定着向上のための社内制度

大島造船所に入社した女性社員が結婚し、子どもが生まれても安心して家庭や職場で充実した生活を送れるように、社会情勢に合った会社独自の育児制度（所定外労働の免除、勤務時間の短縮、育児手当、復活有給制度等）を制定している。社内制度・職場環境・生活環境の整備が整い、結婚後も継続して働く女性の割合は事務職・技術職が4割、技能職で8割となっている。

少子高齢化により、人材不足が進む現代に於いて、女性の活躍は必要不可欠である。大島造船所に入社した女性社員が定年まで安心して働くことができ、その子息も当社に入社したいと思える、家族が代々働きたくするような魅力ある企業を目指していきたい。



設計部 杉原さん
「入社して約4年間は女性専用社宅で快適に過ごしました。また、結婚して出産後は1年間の育児休暇を頂き、復帰後も会社の育児支援制度、職場の理解もあり、育児と仕事の両立ができています。代表・社長に論文発表する機会もあるので、日々やりがいを感じながら業務に励んでいます。」

取り組んでいる会社の概要

株式会社大島造船所

代表者：南 宣之（代表取締役社長）

所在地：長崎県西海市大島町1605番地の1

資本金：56億円

事業内容：船舶の建造修理と鋼構造
物等の製作据付

従業員数：1,302名

（平成29年8月時点）

旭洋造船株式会社（山口県下関市）

社員の事情に配慮した育児休業の延長

福利厚生の充実で 社員の多様な 生き方を応援



職種転換を経て現在は生産設計に従事している守田真弓主任
「目標を立てることによって、仕事に対する向上心と達成感が得られました。それによって会社に貢献できていると思うと、日々業務にとてもやりがいを感じています。」

会社の姿勢

良い船の建造は社員の充実した生活から

造船業界の成長のためには、まず造船業が魅力ある職場として認識されることが必要。そのために福利厚生を継続的に図り、社員の家族にも親しめる家族工場見学会のようなアットホームなイベントを開催して、仕事を理解してもらえる機会を設けている。こうした試みは、結果的に女性社員の居心地のよさにつながっており、勤続年数も長くなる傾向にある。

技術職採用の女性は1名。仕事への取り組み意識が高く、将来の管理職候補としても期待している。現在は育児休業中で、予定していた1年の期限を過ぎても保育所に入所が叶わないことから休業期間を延長。優秀な人材なので、会社では復帰を心待ちにしている。



家族工場見学会は、協力会社のご家族や新卒内定者にまで門戸を広げたビッグイベント。社員たちも、仕事とは別の顔を見せて楽しんだ。

社内環境

総合職への職種転換で専門性を深めることも可能

福利厚生の充実を目指して、半日有給休暇やノー残業デーを設定。年間所定労働時間を1992時間（249日）から32時間短縮して1960時間（245日）にし、平成29年度から適用した。社員が家庭や地域生活での多様な生き方を選択できるよう、配慮している。また、2014年に完成した独身寮12部屋のうち、2部屋を女性用として確保。女性の入社希望者にも入居対応できるように備え、平成29年4月には初の入寮者を迎えた。

現在、平成29年4月に育児休業から復帰した女性係長の他に、一般事務職採用ながら総合職に職種転換して生産設計に携わっている女性主任が1名。実務を通してキャリアを積んでいけば、一般事務職から総合職への道が開かれている。能力と適性を見て、男女の区別なく評価していく。



VOICE

宮元 知佳さん
育児休業からの復帰面談のためにお子さんと来社した宮元知佳係長。手前の模型は係長が進水計算を手掛けた自動車運搬船。
「育児休業期間や復帰について、柔軟に対応してもらえ、休業中の不安がなくなりました。復帰後は仕事と家庭を両立できるよう、頑張ります！」

取り組んでいる会社の概要

旭洋造船株式会社

代表者：越智 勝彦（代表取締役社長）

所在地：山口県下関市長府港町8番7号

資本金：6,000万円

事業内容：鋼船の建造及び修繕

従業員数：176名

（平成29年8月時点、子会社含む）

佐伯重工業株式会社（大分県佐伯市）

女性の採用拡大へ環境改善

女性でも 働きやすい環境へ



全体数からみると少ないが、営業や資材、設計業務として女性の活躍がみられます。写真は営業課と資材課の仕事風景

会社の姿勢

従業員全員が働きやすい職場へ

現在、本工 186 名に対し女性は 4 名。女性比率は 2%程となっている。ただ、人材確保や職場内の雰囲気、女性優位の能力を考えると今後は積極的に女性も受け入れていきたい。特に現在女性がいる設計や資材担当は男性社員とも全く引けを取らず、女性比率を上げていきたいと考えているが、今後は工程管理業務にも女性が働けるような環境を整える準備をしている。

また、現在の全国的な人材不足を考えると男性女性関係なく、働き続けやすい職場環境を提供する必要があると深く考えている。



設計部の仕事風景

社内環境

ワークライフバランスの向上を

昼休みは更衣室で関連会社の女性社員を含めて十数名でテレビを見たり、談笑したりしてリラックスして過ごし、オン・オフを切り替え、メリハリをつけて業務に臨んでいる。

結婚、出産、育児、介護等を理由に退職を余儀なくされる事等ないよう、育児・介護休業等に関する規則を整えており、ワークライフバランスの向上を図っている。

また、遠方から I ターンで就職する方向けに社員寮としてセキュリティ完備のマンション、アパートを用意し、女性の一人暮らしでも安心して過ごせるようにしており、女性従業員を受け入れる環境を整えている。



VOICE

（檀上さん）
入社より資材課の購買担当として活躍しています。「入社 1 年が経ち、仕事にも慣れてきました。分からないこと、気になることがあれば何でも教えてくれる頼れる上司がたくさんいるので、安心して楽しく日々の業務に取り組んでいます。」

取り組んでいる会社の概要

佐伯重工業株式会社

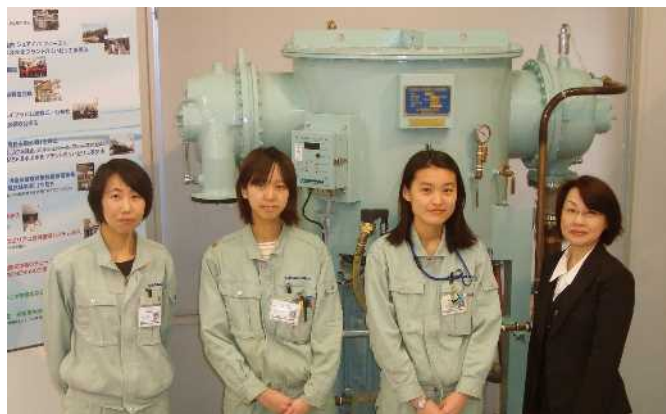
代表者：竹中 浩（代表取締役社長）
所在地：大分県佐伯市鶴谷町 2 丁目 5-3 7
資本金：9,000 万円
事業内容：鋼船の建造
従業員数：186 名

（平成 29 年 8 月時点）

株式会社サクラ（大阪府大阪市）

女性が働きやすい職場

女性の技術職・管理職の活躍



現在在籍中の女性社員達（一部）。それぞれ設計や研究開発、営業部門で活躍している。（撮影場所：当社研究開発施設）

会社の姿勢

女性社員の活躍

当社では、女性社員は事務職や営業職だけでなく技術職においても多数在籍しており、設計や研究開発において大きな役割を担っています。

平成29年には、大阪商工会議所主催の、企業活動や文化的活動で活躍する女性リーダーを応援する“第2回大阪サクヤヒメ表彰”にて、当社の女性管理職員が活躍賞を受賞しています。



平成29年度「第2回サクヤヒメ表彰」受賞式典にて。（女性管理職員）

社内環境

子育てをしながら働きやすい環境

福利厚生面では、育児休暇も取得しやすく、子育てに周囲の方が協力的です。現在は、総合職の技術社員が1名、一年半の育児休暇を取得中です。

また、フレックスタイム制度を活用することで、育児休暇を取得後に復帰してからも、就業時間を調整して働きやすい環境となっています。



現在子育て中の設計職の女性社員。

取り組んでいる会社の概要

株式会社サクラ

代表者：笹倉 敏彦（代表取締役社長）

所在地：大阪府大阪市西淀川区

竹島4丁目7番32号

資本金：22億2千万円

事業内容：船舶用機器、陸上用機器、水処理装置、消音冷熱装置の製造及び販売等

従業員数：305名（連結：504名）

（平成30年1月時点）

株式会社三和ドック（広島県尾道市）

女性総合職の拡大に向けた環境づくり

因島で働きやすい 職場環境を提供し 地元貢献できる企業に

会社の姿勢

性別も国籍も区別しない

少子高齢化の現代日本で優秀な人材を確保するには、性別や国籍にとらわれない幅広い人材に目を向けるべきである。当然、女性も歓迎。海外では造船業界で働く女性も多いため、日本でも女性が増えていくと思われる。実際、仕事をやっていく上で男女の差はほとんどないと考えている。社員が仕事を続けていくためのサポートは、男女を問わずやっていきたい。

因島で雇用を創出し、社員が家族を持って因島に根付いていけるようにすることが、企業としての地元への貢献になる。その一環として、今後は時短勤務やフレックスといった制度を整備していく。

社内環境

初の女性技術系総合職に期待

女性専用のシャワールームや更衣室を備えた新社屋が、平成28年に完成。更衣室は広く快適で、冷蔵庫やレンジ、流しも完備された女性社員たちの憩いの場所となっている。利用時は靴を脱いで上げられるなど、女性社員たちの要望を多く取り入れた。

平成29年には、初の女性技術系総合職が入社、平成30年にはさらに2名が入社予定。また、入社予定の男性技術系総合職5名のうち2名はマレーシアからの留学生。女性総合職や外国人も自然体で受け入れ、何か問題があればその都度解決していくように会社としても柔軟に対応する。平成28年には独身寮の一部を女性専用改装、現在は2名が生活している。廊下の窓をすりガラスにしてプライバシーに配慮するなどの工夫を加えている。女性用の作業服も新しく作製。

実力主義の採用を続けるためには環境づくりも重要と考え、様々な面で改善を続けている。



総務の取りまとめ役である村上貴恵さんは、職場での問題点や課題があれば寺西取締役へ直接進言。会社としても、仕事のための改革案を歓迎している。



新社屋は、平成29年に第30回日経ニューオフィス賞を受賞した。目玉となった最上階の展望カフェで昼食を食べる女性社員が多く、休憩時間のくつろぎスペースとなっている。



VOICE

新谷 真未さん
初の女性総合職として入社1年目。女性造船技術者のモデルケースとなるべく、日々勉強中。
「まだまだ女性が現場に来ることへの戸惑いや心配の声も頂きますが、それらの声にも敬意を払いつつ、もっと勉強して、より安全な職場づくりに貢献したいです。」

取り組んでいる会社の概要

株式会社三和ドック

代表者：寺西 勇（代表取締役社長）
所在地：広島県尾道市因島重井町600番地
資本金：7,000万円
事業内容：各種船舶の修理及び改造
従業員数：354名

（平成29年8月時点）

J R C S 株式会社（山口県下関市）

事業所内託児所の設置は県内でも数少ない

先進的な取り組みで 会社に対する誇りと 絆を強めていく



ワーク・ライフバランス推進の一環として、社員の家族を招待する「家族参観日」を開催している。家族に職場や働く姿を見てもらい、仕事への理解を深めてもらうこと、そして社員には、仕事に対する誇りや働きがいを再認識してもらうことを目的としたイベント。

会社の姿勢

ダイバーシティを経営目標に女性活躍を推進

ダイバーシティという言葉が生まれるずっと以前、約20年前から、総合職の女性採用、高卒社員の総合職へのコース転換、外国人の採用など、ダイバーシティを重視した能力主義の人事制度を実施してきた。また、階層別・テーマ別に計画された研修プログラムや、「自律型人材」を目指す自己啓発支援など、キャリア形成のための各種制度も充実させてきた。

J R C Sの女性従業員の割合は40%程度だが、一般職や契約社員が多く、管理職や総合職の割合は高くない。そこで、平成28年の女性活躍推進法による行動計画では、女性管理職は4名で管理職に占める女性の割合は9%から11%に、また総合職に占める女性の割合は10%程度から12%にすることを目標としている。



山口県内初の事業所内託児所「ラッコランド」は、最大11人の乳幼児を預かることができる。ひな祭りやクリスマスなどのイベントも多数開催しており、社員のみならず、子ども同士の絆も強まっている。

社内環境

託児所を始め、女性が働きやすい環境を整備

平成20年4月から、事業所内託児所「ラッコランド」を社員食堂の隣に設置し、従業員が出産後も働きやすい職場環境を整えてきた。また、すべての年次有給休暇を1時間単位で取得できる他、法を超えた育児・介護のための短時間勤務・時差出勤制度を整えるなど、両立支援策に取り組んできた。

こうした事業所内託児所や各種支援制度により、特に女性従業員が出産後も安心して子育てをしながら仕事に専念でき、着実にキャリアを積み重ねている。

今後は、在宅勤務や時短勤務、遠隔地勤務など新しい働き方を試しながら、従業員の負担軽減と成果向上を両立させるべく、働き方改革を模索していきたいと考えている。



子どもができたとき、育児のために退職も考えましたが、育児休業や託児所など会社の諸制度の充実と職場の周りの社員の理解により、キャリアを継続することができました。(30代、女性)

取り組んでいる会社の概要

J R C S 株式会社

代表者：近藤高一郎（代表取締役社長）
所在地：山口県下関市東大和町1-2-14
資本金：2,000万円
事業内容：新造船事業、ソリューション事業、
新規事業
従業員数：459名

（平成29年8月時点）

新潟原動機株式会社（東京都千代田区）

スローガンは「明るく！楽しく！元気よく！」

働き方改革や 職域の拡大などを 通じた女性活躍推進



当社の研修センターで行われているメンテナンス部門のスキルアップ研修。平成29年度から女性の職域拡大を目的とした新しい研修メニューが加わった。

会社の姿勢

性別に関係なく活躍できる会社

海事業界全般と同様に、当社の女性比率も1割未満と低い。しかし、活躍が期待できる人材なら性別に関係なく採用する、という考えを持つ当社では、今日のような女性活躍推進が国を挙げた活動になる以前から女性の採用を行ってきた。

直近5年間（平成25～29年）の新卒採用における女性の採用人数は合計23名。近年はリケジョ採用の競争激化の影響で技術系の採用に苦戦しているが、営業系や技能系の職種でも性別を意識することなく採用した結果、途切れることなく女性が入社している。

平成26年にはダイバーシティ推進活動がスタート。当初は活動の対象を女性とし、女性専用トイレの増設、女性キャリアモデルによる座談会、女性向けの研修など行ってきたが、平成29年度からは対象を全従業員に拡大。「明るく！楽しく！元気よく！」をスローガンに、誰もが活躍し続ける会社づくりに力を注ぐ。



当社の女性キャリアモデル3人が、自分の経験を紹介する座談会が実施された。

社内環境

活躍と定着を後押しするための取り組み

誰もが活躍し続けるためには、活躍の機会と、就業を続けられる環境が欠かせない。女性を対象とした活動では、「働き方改革」「女性の職域拡大」の一環として、これまで女性では難しいと考えられていた陸用メンテナンスの現場監督業務への参画を目指し、女性向けの座学実習・実技実習が始まった。そして、工場においても見学時の工場案内を女性が担当するなど、活躍の機会が目に見えて増えている。

また、定着を後押しするための取り組みとしては、平成30年1月、妊娠・育児・介護と仕事の両立支援を目的に、在宅勤務制度をスタートさせ、ライフイベントを迎える女性はもちろんのこと、男性でも安心して就業し続けられるための制度整備が始まっている。

さらに、若手社員の定着と早期戦力化の支援施策として、入社1年目および2年目の社員を対象に、アンケート調査や個人面談によるフォローも平成29年からスタートさせた。



ダイバーシティ推進活動の初年度に、女性社員たちの手で作成された当社の製品紹介ハンドブック。イラストや写真が多用されるなど、随所にわかりやすく伝えるための工夫が見られる。

取り組んでいる会社の概要

新潟原動機株式会社

代表者： 本山 和彦(代表取締役社長)

所在地： 東京都千代田区外神田2-14-5

資本金： 30億円

事業内容： 船用エンジン・Z形推進装置等の製造・販売・メンテナンス

従業員数： 1,148名

(平成29年3月時点)

檜垣造船株式会社（愛媛県今治市）

優秀な人材の採用とやりがいを感じる環境づくり

意欲が高い 女性たちの 活躍の場を広げる

会社の姿勢

優秀で意欲の高い女性たちに期待

設計・オペレーターシステムの導入や設備改善によって、女性が活躍しやすい時代になったと考えている。CADの導入で女性が設計に取り組みやすくなったようで、設計技術者としての女性の採用が増え、現在は36名の設計部員のうち9名が女性。設計以外でも、生産管理や工程管理、オペレーターの仕事など、女性の活躍の場は十分にある。女性たちの意欲の高さと優秀さも感じており、将来的には女性管理職の誕生も期待される。

現在は溶接、塗装など現場で活躍している女性はいないが、新しい工場では、換気機能の向上や段差の解消によって安全で快適な作業環境を整えた。今後は、工場でも積極的に女性を受け入れていきたい。

社内環境

産休・育休を経てやりがいのある仕事に従事

檜垣造船では、産休・育休を利用して、出産後も仕事を続ける女性が増えている。子育て中の女性を中途採用することもあり、家庭と仕事を両立している女性社員は少なくない。そんな女性たちも大いに利用しているのが、時間有休。子どもの突然の病気で病院に連れて行ったり学校行事に参加したり、使い勝手がいいために多くの人が活用している。

現在、設計部では産休・育休の取得経験がある女性も活躍中。今回の制度利用も、周囲の理解でスムーズな休暇取得ができた。復帰後4年が経過し、仕事にやりがいを感じているという。仕事は男女平等であり、社員のライフイベントである出産・育児に対する配慮もきちんとなされている。会社としても働き続けてもらうことが理想であり、家庭の事情で退職した人も、同社で身につけたスキルを持っているので、復帰は歓迎したいとの考えである。



設計技術者の安藤睦美さんは産休・育休をあわせて約1年取得し、職場復帰した。現在は子どものために休みを取りやすい環境の中で、仕事も任されてやりがいを感じている。



設計部には女性技術者5人と、設計事務の女性社員も在籍。女性の数が増えてきたことで、男性社会という雰囲気は薄れてきている。



安藤 睦美さん
「自分が設計しているのは、部分的なところですがそれが合わさって巨大な船ができる。我が子が大きくなったら、自分が建造に関わった実物の船を見せてあげたいです。」

取り組んでいる会社の概要

檜垣造船株式会社

代表者：檜垣 宏彰（代表取締役・）
所在地：愛媛県今治市小浦町1丁目4番25号
資本金：4,800万円
事業内容：各種鋼船の建造
従業員数：100名

（平成29年10月時点）

三浦工業株式会社（愛媛県松山市）

女性も安心して長く働ける職場に…

“働きがいのある、 働きやすい職場づくり” で女性の活躍を推進



ミウラでは、女性総合職の積極採用を行っており、研究開発・設計部門や営業部門で幅広く活躍している。結婚・出産後も仕事と家庭を両立できるように、会社全体で働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

会社の姿勢

三浦工業の2割以上が女性社員、内3割は役職者

弊社では、2007年に女性活躍推進課（現ダイバーシティ推進課）を設置し、執行役員をはじめとする女性の管理職への積極的な登用や職種転換制度等、女性が生きいきと働ける環境の整備に力を入れている。

また、産休・育休から復帰してくる女性社員のために、事業所内保育所、小学校3年生までの育児時短勤務等の支援体制を整え、ワーク・ライフ・バランスに重点を置いた働き方改革を進めている。

そういった取り組みにより、ここ数年では女性活躍推進に関する数々の表彰を頂き、子育てサポート企業としての『くるみん』や『えるぼし』認定企業として評価頂けるようになった。



『くるみん』『えるぼし』認定の三浦工業

社内環境

女性技術者の積極採用と育成のための取り組み

ここ数年、弊社では女性の総合職（研究開発・設計/技術営業等）を積極採用しており、毎年高専生向けの企業説明会や全国の大学内でのセミナーに参加している。また、日本機械学会主催のメカジョ未来フォーラムへも昨年参加しており、ミウラの将来を担う女性技術者を求めて採用活動を強化している。

また、弊社はボイラだけでなく、水処理や食品機械・メディカル・船用関係の商品設計・開発にも力を入れており、女性総合職の中で、1年目からバラスト水処理装置の設計を担当している社員もいる。配属前には、約1ヶ月間、弊社の研修施設でしっかりと研修が実施されるため、新入社員の不安も軽減されている。また、早い段階で1人前になれるよう、現場でのOJT体制も整え、バックアップしている。



入社1年目からバラスト水処理装置の設計業務に携わっています。まだわからないことも多いですが、上司や先輩にフォロー頂き、日々やりがいを感じながら仕事できています。将来、結婚・出産しても長くミウラで働きたいと思っています。（20代女性）

取り組んでいる会社の概要

三浦工業株式会社

代表者：宮内 大介（代表取締役 社長執行役員 CEO）

所在地：愛媛県松山市堀江町7番地

資本金：95億4,400万円

事業内容：小型貫流ボイラ・船用ボイラ・排ガスボイラ・水処理装置等の製造販売、メンテナンス、環境計量証明業等

従業員数：グループ計5,013名

（平成29年3月時点）

三井E & S造船株式会社（東京都中央区、岡山県玉野市、千葉県市原市）

ライフイベントの状況に応じた能力開発を

性別に関わらず 能力を発揮して 活躍できる企業



船舶の保有・賃船等を行う子会社の営業職やグループ連結運営管理の取りまとめを経て、現在は人事・総務業務全般を担当する坂上さん（中央）。小学生の子供を育てながら管理職として働いている。「女性が結婚出産後も働くことは普通になっていると感じます。時間の制約はありますが、効率的に、柔軟に業務を進めることを心がけています。」

会社の姿勢

一人前のプロフェッショナルとして働く

当社では、全ての社員がライフイベントの状況に応じた能力発揮をして、長期的な成長意欲を持ち続けることを目指している。

現在、当社の女性社員は50名以上。事務・技術職では、企画・開発・設計・営業や調達、経理、人事等、様々な職種で働いている。技能職についても、2017年度に新入社員2名が加わり、女性社員は4名となった。若手・中堅社員が多く、今後の成長と活躍を期待している。

採用後は、「一人前のプロフェッショナル」を目指して早期育成に注力している。特に女性は、出産・育児等で働く時間や場所に制約を受ける場合が多いことから、将来のライフイベントを想定してキャリア形成を行うよう職場への働きかけを行っている。

今後も優秀な人材を採用し、幅広い業務で活躍できるよう育成を行っていく。



2017年度に技能職で入社した角川さん（左）、平岡さん（右）。「毎日、初めて体験することばかりですが、早く慣れて技術を身につけ、色々なことにチャレンジしたいです。」

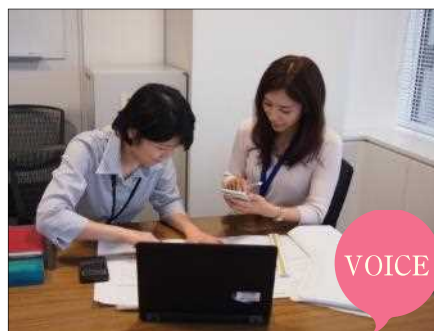
社内環境

仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境整備

育児や介護を行う社員が仕事と家庭を両立して働き続けられるよう、法定を上回る休業や休暇制度を整備している。

特に育児休業については、女性社員の取得率は100%と高く、複数回取得する女性社員も珍しくはない。復職後は、コアタイムなしのフレックスタイム制度や短時間勤務制度を活用し、柔軟に働くことができる。2015年度からは、男性社員についても会社から育児休業や育児目的で利用できる有給休暇の取得を呼び掛けており、制度の利用者は着実に増えている。また、2017年度には妊娠、育児、介護等を行う社員が利用できる在宅勤務を導入した。

福利厚生については、各事業所で寮・社宅を完備しているが、2010年に玉野事業所の女性独身寮新設、2016年に本社の独身寮建替えを行い、従業員が安心して働くことができる環境を整備している。



設計職の女性社員も多い。岡安さん（左）は、各種船舶の基本設計を行っている。「海上の城」大型船舶は昔からのあこがれ。感動がたくさんあります。いつか自分が造った船を子供に見せたいです。」

取り組んでいる会社の概要

三井E & S造船株式会社

代表者：古賀 哲郎（代表取締役社長）
所在地：東京都中央区築地5-6-4
資本金：20億2千万円
事業内容：各種船舶の開発・設計・建造
従業員数：1,444名
（平成30年4月時点）

三菱重工業株式会社（東京都港区）

制度と風土改革の両面で女性の活躍を支援

誰もが活躍できる 職場づくりを 目指して



新型護衛艦建造における艦装工程管理や機器試験調整を担当する安部汐美さん（写真右）。「職場は設計と現場の橋渡しの存在であり、高度な専門的知識が必要ですが、現場作業者との積極的なコミュニケーションを常に心がけています」

会社の姿勢

一人ひとりが生き生きと働ける職場づくり

グローバル人材の確保・育成と女性の活躍推進を軸に、多様性を追求するダイバーシティ・マネジメントを強化している。「女性従業員数の拡大」、「育児・介護中のキャリア支援」、「女性役職者の計画的な育成」、「風土醸成」の4つのテーマを掲げ、出産や育児から早期に仕事に戻るための働き方の検討など、男女共に多様で柔軟な働き方が出来る環境づくりを進めている。

また、2014年7月には、「2020年までに女性役職者数を現状の3倍に引き上げる」目標を設定。女性がさらなるキャリアアップを目指すことのできる仕組みづくりや環境整備を進めていく。



入社3年目の女性社員を主対象としたキャリアプランニング研修

社内環境

制度の充実だけでなく、制度を活用できる職場風土

社員が仕事と家庭を両立しやすい環境を整えるため、育児や介護などに配慮したさまざまな支援制度の拡充に取り組んでいる。2016年4月からは育児・介護に携わる者および妊娠中の者などを対象に在宅勤務を導入し、より個々人の事情に合わせたフレキシブルな働き方を提案。また女性社員自身のキャリア意識を早い段階から高め、支援する研修として「キャリアプランニング研修」を新たに開始したほか、育児休業後のスムーズな職場復帰支援のための、育児休業者と育児休業経験者との座談会の定期的な開催など、制度の整備以外の取り組みにも注力している。



VOICE

新木 優花さん（写真左）
「実際の護衛艦を目の前にして仕事ができることがこの仕事の魅力です。季節によっては外での作業が大変な時もありますが、製品に触れながら働き、就役まで見送れることは技術者冥利に尽きます。」

取り組んでいる会社の概要

三菱重工業株式会社

代表者：宮永 俊一（取締役社長）
所在地：東京都港区港南2丁目16番5号
資本金：2,656億円
事業内容：パワー、インダストリー & 社会基盤、航空・防衛・宇宙
従業員数：16,542名
（平成29年8月時点、単独）

株式会社横浜工作所（神奈川県横浜市）

施設改善やスキルアップのため
女性自らが提案できる職場感環境

会社の成長につながる 女性の「やりたい！」 「続けたい！」の支援



すでに女性管理職も誕生。語学力を活かし、海外企業との交渉でも活躍。

会社の姿勢

女性に限らず、全社員にとって快適で働きやすい職場環境を

男女の垣根なく、社員みんなが心地よく働ける環境を提供することで社内を活性化。そうした方針に沿って、社員一人ひとりの声を丁寧にすくい上げていった結果、女性の提案や希望がさまざまな改革を生んだ。もともと資格取得の希望者を支援するなど、社員自らが声を上げたことには、できるだけ応える社風。誰もが能力を発揮できる職場を目指すことが、女性の活躍推進につながっている。



新設した屋外休憩所は女子社員の憩いの場になっている。

社内環境

家庭と両立してできるだけ長く働くための福利厚生

労働基準法で定められた休日・休暇制度では不十分であると考え、それぞれの家庭の事情に合わせた働き方を実現するために福利厚生を見直している。特に、現在産休中の女性社員のために、復帰しやすい制度を構築中。さらに育児や介護にも目を向けて、柔軟な働き方を可能にしている。

他にも、施設面で女性社員の声を取り入れた改装を進めている。まず、物置を快適な休憩室にし、体調がすぐれない時には横になることも可能にした。さらにトイレ改修の折には、女子トイレを明るく洗練された雰囲気。来客者からも好評を得ている。

希望や提案があれば臆せず声を上げる女性社員が増え、社員みんな会社を良くしていこうという土壌が育ってきた。現在、実修理等の技能業務に携わる女性も活躍中であるが、造船業界では他にも語学を生かすなど女性が活躍できる余地はまだ多く残されていると考えており、社をあげてさらに女性の活躍を推進していきたい。



女性社員談話
「事務職ですが、船の操縦など現場での体験もさせてもらえます。仕事の全体像がわかるので、助かっています。」

取り組んでいる会社の概要

株式会社横浜工作所

代表者：網淵 純（代表取締役社長）
所在地：神奈川県横浜市鶴見区生麦
2丁目3番2号
資本金：5,000万円
事業内容：各種船舶の修理、沖修理
従業員数：60名

（平成29年8月時点）

女性にも男性にも 働きやすく 魅力ある職場づくり



油清浄機の定期整備中の田中三等機関士
「やりがいは主機や発電機など様々な役割の機械に触れるところです。構造や整備方法など覚えることがたくさんあり大変ですが、原理や構造がわかって面白いです。」

会社の姿勢

内航海運の将来の為に男女を問わず優秀な人材の育成を

内航海運業を営む当社にとって、船員は最も重要な資産の一つである。男女を問わず優秀な人材を確保・育成する方針のもと、乗組員の定着率アップを図る。

運輸局主催の海技者セミナーへの参加や会社訪問者への対応、学校訪問などで各学校関係とのつながりを大切に、適宜優秀な人材の確保に努めている。

人材の育成としては、適性検査による社員特性を抽出し、本人の持ち味の長所を伸ばし短所を改善するよう育成者（先輩管理職）に指導要領のアドバイスをすると共に、本人へ特性や持ち味を説明している。また、研修乗船後に事務所にて同期入社社員を招集し、研修乗船後のヒアリングや講習会を開催している。



安全標識整備中の浜田甲板部員
「海の上で生活をしながら生活に必要な物を運び、誰かの役に立つことができる船員という職業にとってもやりがいを感じています。女性でもできることがたくさんある点も魅力的です。」

社内環境

女性の為の船内設備はもちろん、男女ともに働きやすい環境を

甲板部4名、機関部4名、計8名の女性船員が活躍している当社では、1994年から女性船員の乗船のための設備を整え始め、同年女性船員の雇用を開始した。現在、自社配乗船12隻の内、7隻は女性専用のトイレ、シャワー、洗濯機、乾燥機を設置している。また、現在建造中の新造船も同様である。将来的には、全船に女性の為の設備を整えるよう目指している。

若手船員へ海技伝承できるようベテランと若手の年齢や性別の違いによりコミュニケーションやチームワークが希薄にならないよう努め、各種ハラスメント防止の為ホットラインを設け、問題の未然防止・早期発見を目的とした『言える化』に取り組んでいる。

今後も、男女共に働きやすい環境を作り、訪船活動を通じコミュニケーションを取り、魅力ある職場を目指す。



浜田甲板部員「本船には女性設備が整っているので、船内では快適に過ごすことができます。」

取り組んでいる会社の概要

アジアパシフィックマリン株式会社

代表者：代表取締役社長 牛山 啓二
所在地：福岡県北九州市
資本金：3,500万円
事業内容：内航海運業
従業員数：138名

（平成29年12月時点）

協同商船株式会社（東京都杉並区）

積極的に女性を登用 リーダーを育成

“女性だけの船” “子育て支援の船” 実現に向けて



君津丸の出港を見送りながら、「こんなに大きな船を自分が動かしている。乗組員ってカッコいい！」と言った小川一航士の後ろ姿がかっこよかった！！

会社の姿勢

2016年 創業70周年を迎えて

1950年から、協同商船は従来、船舶輸送のエキスパートとして、原料と鋼材の輸送に従事してきた。現在は、人が働きやすい会社を目指し、安全輸送の為、船舶運航、修繕管理、船員配乗、労務管理など、陸上・海上共に女性を起用している。

1991年、新人育成のため毎年1～2名を採用していたが、船員フェアや会社訪問に来る就職活動の生徒達の中に、優秀な女生徒がいること、しかし就職先が無いことを知り、必死に入社を希望する真摯な姿勢に、女性起用を決意。その後、やる気のある全ての船員が働けるよう、環境整備に取り組み、男女問わず積極的な採用活動・船員育成を継続している。

今、陸上・海上共に、女性の間管理職や士官が育ち、今後は更なるリーダー、キャリアを生むことを目指している。



女性だけだからこそ、細やかな対応ができ、和気あいあいと社内も華やかで、コミュニケーションも取りやすい環境が整っている。

社内環境

女性の船内設備はもちろん、男女ともに働きやすい環境を

2000年、女性船員の乗船のため、大型原料船の特別室を女性専用室に改修した。その後、専用室に浴室（シャワー付）、トイレ、洗濯機、冷蔵庫、ドレッサー他も整備。一般貨物船及び専用貨物船についても改修を行い、毎年順次女性を採用している。

現在、女性船員1期生から10年が経過し、甲板3名、機関2名が乗船しており、その内、一航士、一機士が育ち、女性のみで一隻運航できるまでに成長した。

今後、女性だけの運航も可能となるよう、船内荷役軽減システムの設備計画や船内子育て支援策について検討している。

また、男女問わず働きやすい環境を提供できるよう、短い乗船期間のローテーションに取り組んでいる。



大槌町出身の澤舘一機士。
3.11で両親が建てた新築の家を流され、「私が両親に代わって家を建てよう！…」との決意を聞き、頼もしかった。

取り組んでいる会社の概要

協同商船株式会社

代表者：福田 正海（代表取締役専務）

所在地：東京都杉並区荻窪5丁目26番13号

資本金：5,000万円

事業内容：船舶貸渡業・船舶管理業

従業員数：54名

（平成29年12月時点）

■ 海事産業における女性活躍推進の取組事例集についての問合わせ

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 (霞ヶ関合同庁舎第3号館)

【造船業・船用工業関係】 国土交通省 海事局 船舶産業課

TEL : 03-5253-8634 (直通)

FAX : 03-5253-1644

【船員関係】 国土交通省 海事局 船員政策課

TEL : 03-5253-8647 (直通)

FAX : 03-5253-1643

■ 「海事産業における女性活躍推進の取組事例集」掲載申し込み窓口

組 織 名	造船業・船用工業関係		船員関係	
	担当窓口	電話番号	担当窓口	電話番号
国土交通省海事局	船舶産業課	03-5253-8634	船員政策課	03-5253-8647
北海道運輸局海事振興部	旅客・船舶産業課	011-290-1012	船員労政課	011-290-1014
東北運輸局海事振興部	海事産業課	022-791-7512	船員労政課	022-791-7525
関東運輸局海事振興部	船舶産業課	045-211-7223	船員労政課	045-211-7231
北陸信越運輸局海事部	海事産業課	025-285-9156	船員労政課	025-285-9157
中部運輸局海事振興部	船舶産業課	052-952-8020	船員労政課	052-952-8028
近畿運輸局海事振興部	船舶産業課	06-6949-6425	船員労政課	06-6949-6435
神戸運輸監理部海事振興部	船舶産業課	078-321-3148	船員労政課	078-321-3149
中国運輸局海事振興部	船舶産業課	082-228-3691	船員労政課	082-228-3692
四国運輸局海事振興部	船舶産業課	087-802-6816	船員労政課	087-802-6817
九州運輸局海事振興部	船舶産業課	092-472-3158	船員労政課	092-472-3159
沖縄総合事務局運輸部	船舶船員課	098-866-1838	船舶船員課	098-866-1838
(一社) 日本造船工業会	総務部	03-3580-1578		
(一社) 日本中小型造船工業会	総務部	03-3502-2965		
(一社) 日本造船協力事業者団体連合会	事業部	03-5510-3161		
(一社) 日本船用工業会	総務部	03-3502-2041		
(一社) 日本船主協会			海務部(労政)	03-3264-7178
日本内航海運組合総連合会			調査企画部	03-3263-4630
(一社) 日本旅客船協会			労海務部	03-3265-9695
(一社) 日本外航客船協会				03-5275-3710





**海事産業における
女性活躍推進の取組事例集**